

新執行部

琉球大学医学部医学科同窓会の新役員へ就任して

琉球大学保健管理センター 准教授 崎 間 敦（6期生）



琉球大学医学部医学科同窓会会員の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

去る平成25年7月14日に行われました第21回琉球大学医学部医学科同窓会総会におきまして、新たに副会長を2名から4名体制とすることが承認されました。その4人の副会長の1人に選任されました第六期卒業の崎間敦と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私は平成20年4月から琉球大学本学の千原キャンパスにある保健管理センターへ異動となりました。同センターでは、主に、学生職員の健診、ワクチン接種、健康相談、ファーストエイド、学生への健康教育授業、産業医活動などを行なっています。また、母教室の第三内科の腎臓高血圧内科での外来診療も継続しています。琉球大学本学で医師の業務を行っているのは私のみです。赴任前の予想よりはだいぶ忙しく、定期的に附属病院の先生方に応援して頂いています。

さて、我が国の健康づくりの骨子となっている健康日本21（第2次）によれば、健康づくりにおけるソー

シャル・キャピタル（社会関係資本）・地域の絆（沖縄の方言でユイマール）の重要性について示されています。このソーシャル・キャピタルは、人々の協調行動（信頼関係、規範、ネットワーク）を活性化することにより社会の効率性を高めることができるという概念で、社会学、政治学、経済学、経営学などにおいて用いられてきました。その後、ソーシャル・キャピタルが高い地域は、地域住民の健康状態の向上などが明らかになったことから、健康づくりの有効なツールとして期待されています。この概念は、私達の琉球大学医学部医学科同窓会あり方にも当てはまると考えています。同窓会が中心となった琉球大学医学部医学科出身者の絆づくりは、琉球大学医学部医学科の発展の一翼を担えると考えております。

若輩者の副会長ではございますが、蔵下新会長の元、他の3名の副会長の先生方と協力して、同窓会員の皆様に御指導・御支援を頂き、がんばって責務を果たしていきたいと考えております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

医学科同窓会副会長就任の挨拶

琉球大学医学部附属病院 救急部 玉 城 佑一郎（12期生）



皆さん初めまして第21回琉球大学医学部医学科同窓会総会にて新役員として副会長に就任いたしました第12期卒の玉城佑一郎です。

今年、同窓会副会長の屋良さとみ先生から同窓会の副会長として就任して頑張っていけないかとの電話がありまして、事の重大さを分らず『屋良先生と何かやるんだ。ワクワク』の勢いで、軽く「はい」と返事をしてしまい、第21回琉球大学医学部医学科同窓会総会が始まる直前まで呑気に日々を過ごし、総会直前に同窓会事務の上原さんとのやり取りを行って初めて自分の立場を理解しました。そして屋良先生が話していた『副会長』という単語をきちんと理解していなかった事も分かり、相変わらず短絡的な自分の思考回路に反省し、友人に「佑ちゃんになら怪しい壺を売る自信がある」と言われた事を思い出していました。

今年4月より、これまで所属していた第一内科の呼

吸器・感染症から救急部へ転属したばかりで救急部における自分の立ち位置や仕事内容、今後の方針など救急医としてやるべき事を色々考えながら楽しみつつ、新しい救急分野を若干緊張しながら勉強し、業務をこなしている毎日です。その中でポリクリ医学部生や研修医、救急部へ他科から出向で来て頂いている医師とのコミュニケーションを図りながら同窓会役員としてやっていくべき仕事は何か、先輩と後輩間でどのような架け橋として自分がなり得るのか、等々何が分かっていないのかを理解し、まずは出来る事から地盤固めをしていこうと思います。

何と言っても同窓会役員の中で一番の若輩者です。で残念ながら先輩方の力添えがないと今のところ何も出来ませんが、色々な手足となり協力しつつテーマを持って進んでいこうと考えています。

同窓会会員の皆様、未熟者ではありますが今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。